

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：

使用教科書：（ Power On English Communication Ⅱ ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。また、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の文で詳しく話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して複数の文で詳しく話して伝え合ったりすることができる。また、それらを用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の文で複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
側注・脚注の語彙や、各Lessonの言語材料の意味・形・用法を理解する。またそれを用いて表現する技能を身につけている。	各Lesson内容の必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。	各Lessonについて、読み取った本文の概要や要点、内容に関する自分の意見を相手に伝えようとしたり、学んだ言語材料を用いて文章に書くようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）					
Lesson1 【知識及び技能】 助動詞＋動詞の原形、受け身、S＋V [be 動詞以外]＋Cを用いた文の形・意味・用法を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについてや、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ストリートピアノについて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとする態度を養う。	・指導事項 助動詞＋動詞の原形 受け身 S＋V [be 動詞以外]＋C ・教材 教科書 副教材：Power On English Communication Ⅱ ・リスニング教材、単語集、一人1台端末等の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	6
Lesson2 【知識及び技能】 S＋V＋O＋C [形容詞]、S＋V [使役]＋O＋C [原形不定詞]、S＋V [知覚]＋O＋C [現在分詞、原形不定詞]を用いた文の形・意味・用法を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ファストファッションの問題点や自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとする態度を養う。	・指導事項 S＋V＋O＋C [形容詞] S＋V [使役]＋O＋C [原形不定詞] S＋V [知覚]＋O＋C [現在分詞、原形不定詞] ・教材 教科書 副教材：Power On English Communication Ⅱ ・リスニング教材、単語集、一人1台端末等の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	8
定期考査		○	○		○					1

1
学
期

2 学 期	<p>Lesson7 【知識及び技能】 関係代名詞（所有格）、同格を表す接続詞that、前置詞+関係代名詞、関係副詞whereの非制限用法を用いた文の形・意味・用法を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 色の心理的効果について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 色の心理的効果や色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 関係代名詞（所有格） 同格を表す接続詞that 前置詞+関係代名詞 関係副詞whereの非制限用法</p> <p>・教材 教科書 副教材：Power On English Communication II</p> <p>・リスニング教材、単語集、一人1台端末等の活用</p>	○	○	○	○	<p>Lesson7 【知識及び技能】 関係代名詞（所有格）、同格を表す接続詞that、前置詞+関係代名詞、関係副詞whereの非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 色の心理的効果について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 色の心理的効果や色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>Lesson8 【知識及び技能】 強調構文、強調の助動詞do、直前の文を先行詞とする関係代名詞which、to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや、発展途上国への影響について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、納豆パウダーという製品の利点などについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや、発展途上国への影響について、また納豆パウダーという製品の利点などについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 強調構文 強調の助動詞do 直前の文を先行詞とする関係代名詞which to+have+過去分詞</p> <p>・教材 教科書 副教材：Power On English Communication II</p> <p>・リスニング教材、単語集、一人1台端末等の活用</p>	○	○	○	○	<p>Lesson8 【知識及び技能】 強調構文、強調の助動詞do、直前の文を先行詞とする関係代名詞which、to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや、発展途上国への影響について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、納豆パウダーという製品の利点などについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや、発展途上国への影響について、また納豆パウダーという製品の利点などについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	○	7
定期考査			○	○		○		○	○		1

